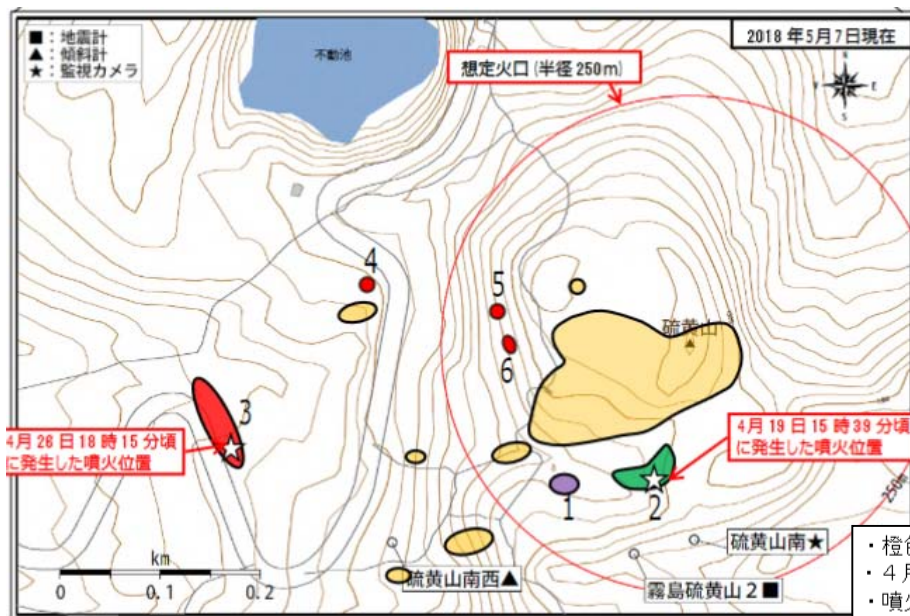


全国の主な活火山の活動状況

福島地方気象台

【霧島山（硫黄山）】

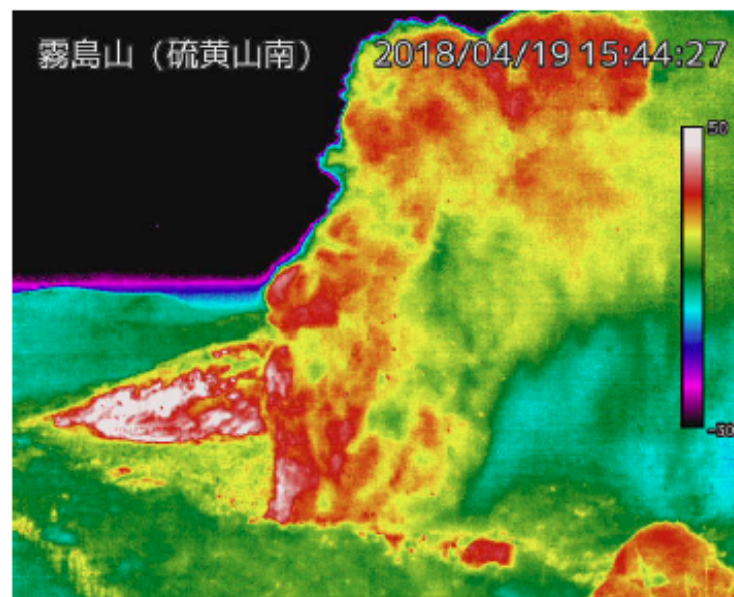
噴火警戒レベル	2月20日11時40分	噴火警戒レベル2 (火口周辺)	火山性地震の増加、湧水の火山ガス由来成分の増加、GNSS連続観測における基線の伸び、活発な噴気活動、熱異常域の拡大
	4月19日15時55分	噴火警戒レベル3 (入山規制)	噴火の発生、噴石の飛散
	5月1日14時00分	噴火警戒レベル2 (火口周辺)	小規模な噴火の可能性
噴火の状況	4月19日15時39分頃	硫黄山の南側で噴火発生	
	4月26日18時15分頃	硫黄山の西側500m付近で噴火発生	



2018年4月21日10時58分（快晴）
宮崎県防災救急航空隊ヘリコプターから撮影

- ・ 橙色は主な熱異常域及び噴気域を示します。
- ・ 4月9日に確認した噴気域及び熱異常域を●で示します
- ・ 噴火以降に拡大した噴気域を●及び●で示します。
- ・ ●の領域内で活発な泥水の噴出がみられています。
- ・ 図13及び図14の観測位置を●で示しています。

◆ 4月19日：監視カメラによる噴火の様子

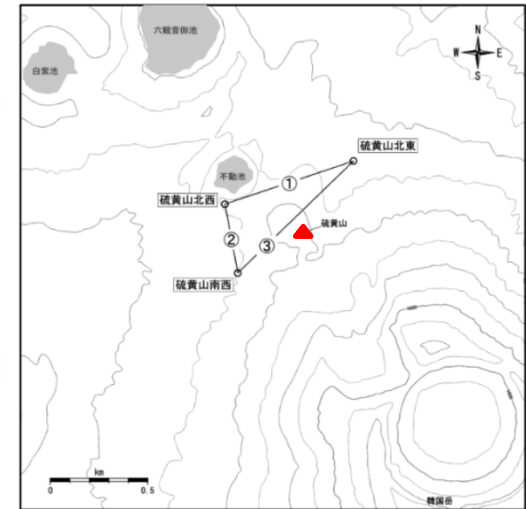
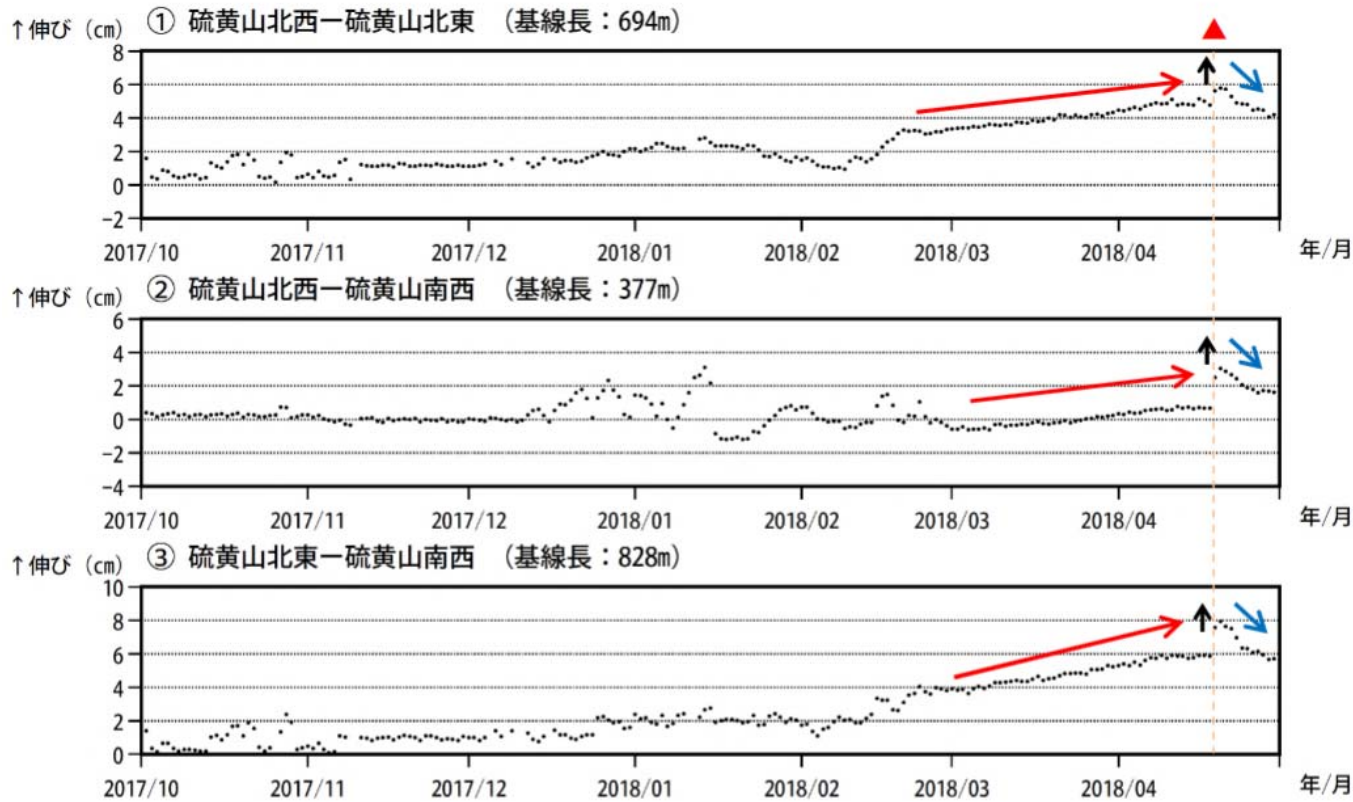


硫黄山南 監視カメラによる

【霧島山（硫黄山）】

◆ GNSS連続観測による基線長変化（2017年10月緊急的に設置）

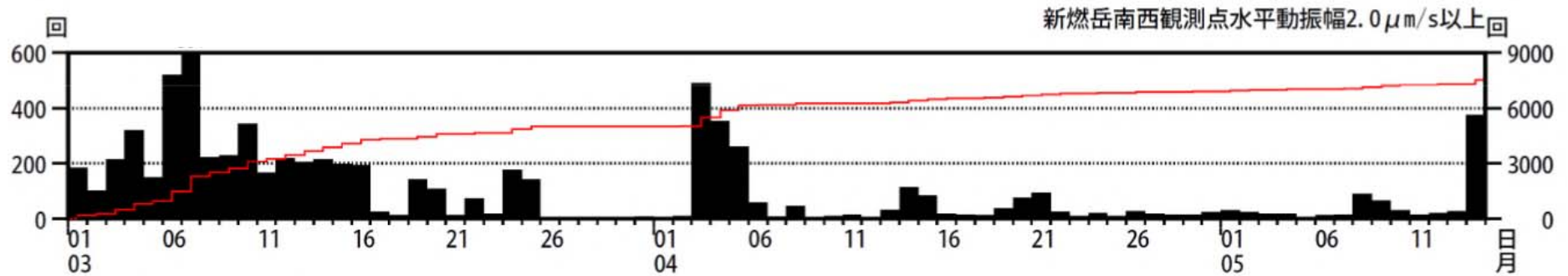
2018年3月頃から山体の膨張を示す変動（赤矢印）がみられ、19日の噴火（▲）で変動量が大きくなり、その後、収縮に転じています。



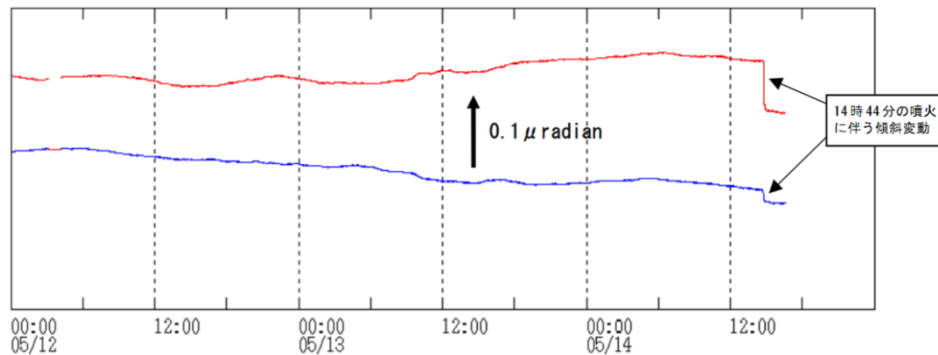
噴火警戒レベル	平成29（2017）年 10月5日23時35分	噴火警戒レベル2 （火口周辺）	火山性地震の増加（振幅拡大傾向）、 GNSS連続観測における基線の伸び
	平成29（2017）年 10月11日11時05分	噴火警戒レベル3 （入山規制）	噴火の発生 ※5月現在まで警戒範囲を拡大・縮 小の警報を発表しており、現在の 警戒範囲は火口周辺概ね3km
噴火の状況	平成29（2017）年 10月11日05時34分頃	噴火発生（～平成29年10月17日00時30分）	
	平成30（2018）年 3月5日～4月6日	断続的に噴火発生、大きな噴石の飛散	
	平成30（2018）年 5月14日	噴火発生	



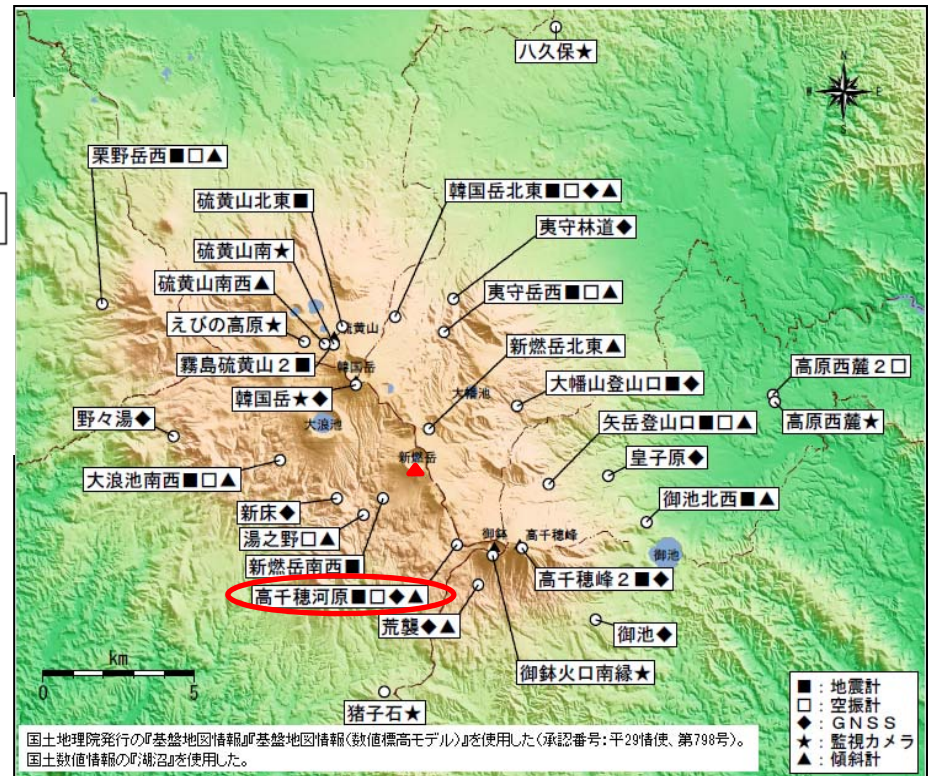
◆ 新燃岳火口直下の火山性地震の日別回数



◆ 5月14日：噴火に伴う傾斜変動



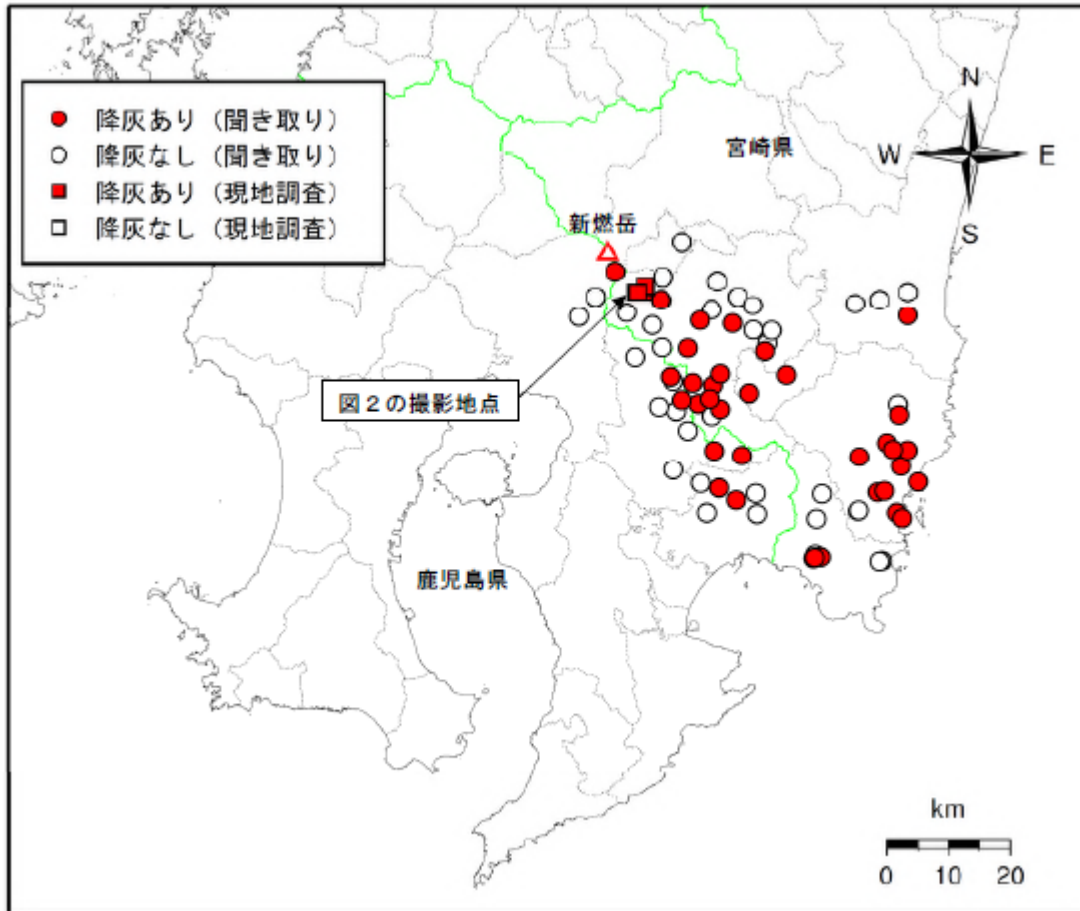
高千穂河原傾斜計（2018年5月12日～14日16時）
 高千穂河原観測点の傾斜計では、噴火に伴い新燃岳方向が沈降する変動が観測されました。



霧島山 観測点配置図

◆ 5月14日：噴火に伴う降灰

宮崎県都城市の一部で、路面の白線が見えにくくなる程度の、やや多量の降灰を確認しました。また、聞き取りによる降灰調査の結果では、新燃岳の東側（宮崎県宮崎市）から南東側（宮崎県串間市）にかけての範囲で降灰を確認しました。



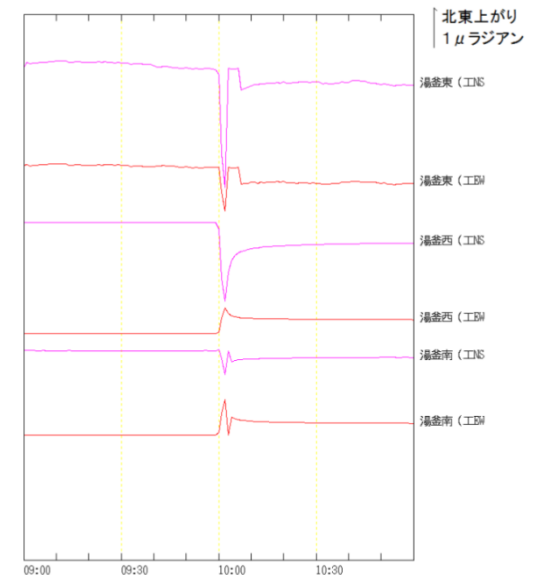
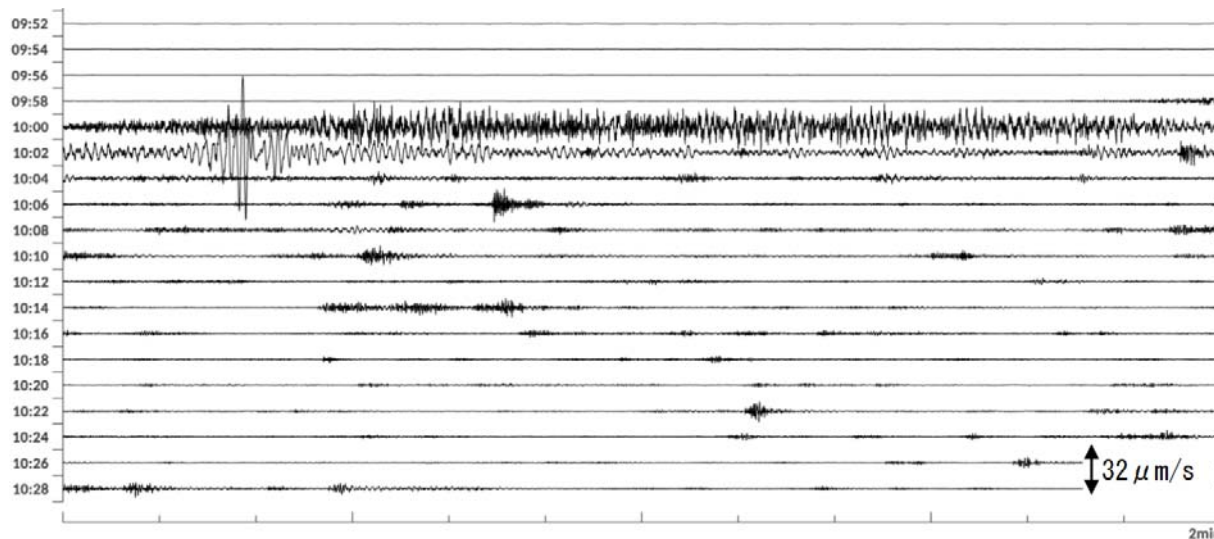
霧島山（新燃岳）降灰分布図
 (2018年5月15日15時30分～19時00分)

降灰の状況（2018年5月14日：宮崎県都城市御池町）
 上：路面の状況、下：降灰採取の様子

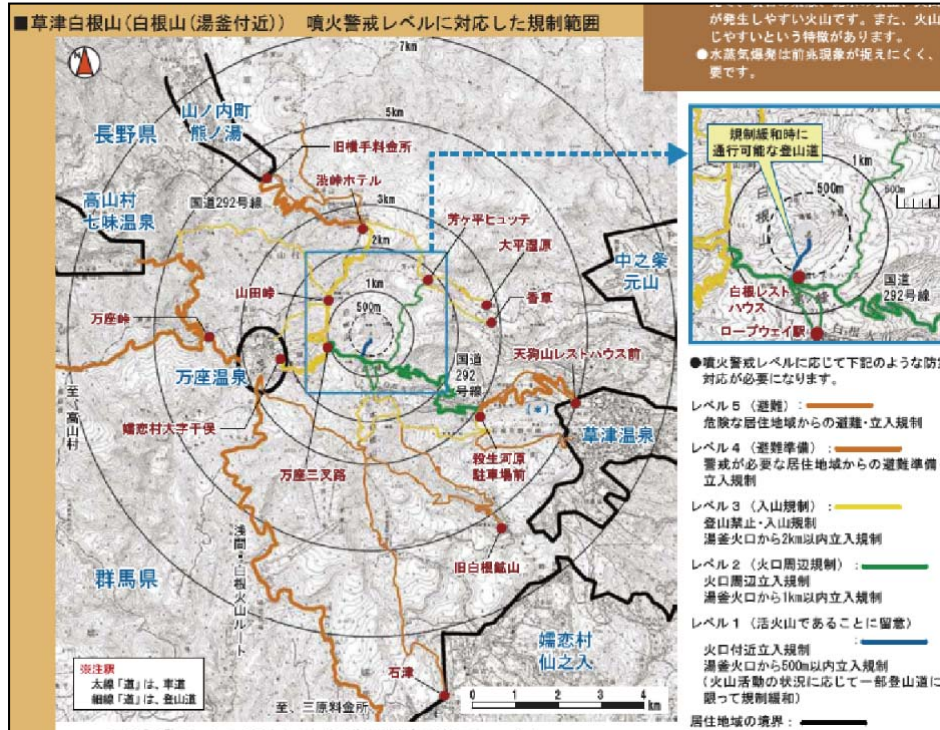
噴火警戒レベル ✓ 本白根山 ✓ 白根山 (湯釜付近)	1月23日11時05分	噴火警戒レベル2 (火口周辺)	本白根山：噴火の発生
	1月23日11時50分	噴火警戒レベル3 (入山規制)	本白根山：噴石が確認されたことによる警戒範囲拡大
	3月16日14時00分	噴火警戒レベル2 (火口周辺)	本白根山：噴火警戒レベルを新たに導入
	4月22日07時00分	噴火警戒レベル2 (火口周辺)	白根山：湯釜付近で火山性地震の増加、傾斜計でわずかな地殻変動
噴火の状況	1月23日09時59分頃	本白根山で噴火発生	

◆ 1月23日09時59分頃発生した火山性微動（左）と傾斜変動（右）

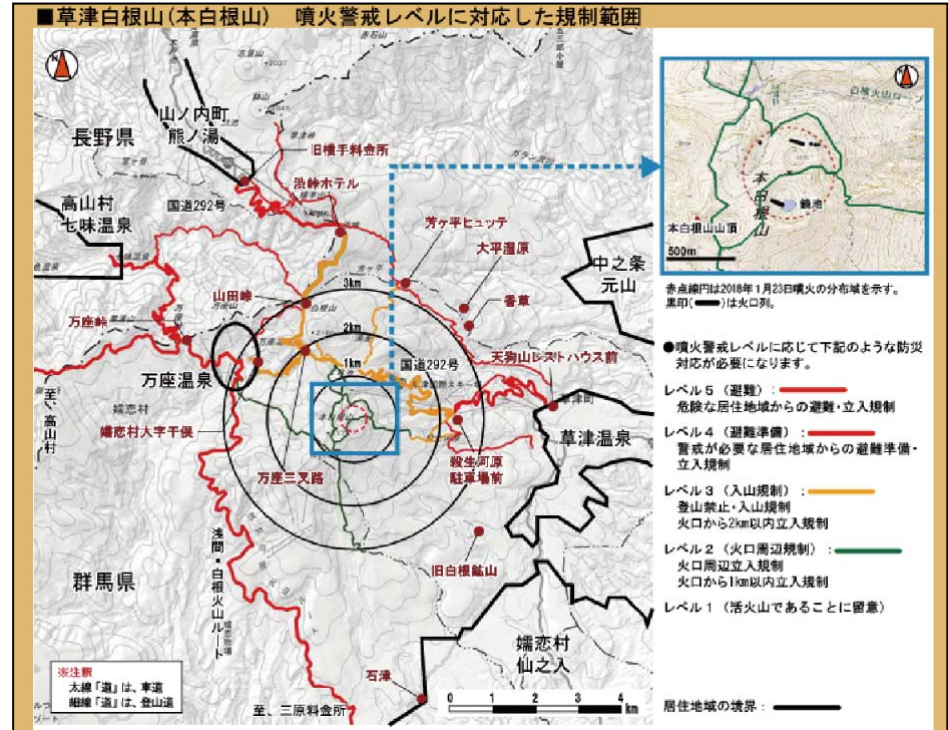
振幅の大きな火山性微動が発生し約8分継続しました。火山性微動の発生後、火山性地震が多数発生しました。傾斜計では、による地殻変動では本白根山方向が隆起する変化がみられました。



◆ 噴火警戒レベルと規制範囲



白根山 (湯釜付近)



本白根山